

平成28年(2016年)12月8日 (木曜日)

「4億8000万円は適正」

三島駅南口
ホテル整備

最低売却価格で答弁

三島市議会

三島市は三島駅南口西街区のホテル整備事業予定地0・34畝の最低売却価格4億8004万9310円について「容積率400%を前提に、不動産鑑定士の鑑定評価を基に設定しているので適正な価格と考えられる」とした。7日に開かれた市議会11月定例会で佐藤寛文氏の一般質問に答えた。

市は土地の広さ、土地の形、取り付け道路の状況、近隣地域の価格状況などの要因を判断基準に価格を算定する仕組みとした上で、「1平方メートルあたり23万8千円を標準価格に53%が割落とされ、1平方

方当たり12万6千円となつている。これを基に最低売却価格を設定した」と説明した。佐藤氏は「市民にとってこの事業が本当に必要なのかを示してほしい」と求めた。提案事業者が東急電鉄1社だったことについては「8社と延べ16

回の事前協議をした結果、主に採算が合わないほか、東京五輪後の経済情勢が不透明、三島市のグランドデザインに合わせることは自由度が低く事業化に踏み切れないなどの理由で応募は1社だった」と説明した。